

2006 Vol.10

市報ゆふ

YUFU CITY INFORMATION MAGAZINE

あらかしの森^もの林^の通信

7月号



● 由布市生活体験スクール



文月



▲庄内地域平石地区 諏訪神社湧水

あらかしの森林(もり)通信の意味は？

「あらかしの木」は由布市に分布するブナ科の常緑樹です。

この木は粘り強く硬い木で、日本建築の組み木の止め栓として活用されています。この「あらかしの木」が森となるには、長い年月を要します。

私たちの「由布市」は、このあらかしの木の生態と特質をまちづくりに例えて、挾間・庄内・湯布院の風土、文化を大切に継承しつつ、新生「由布市」のまちづくりを市民と行政が協働の精神の中から「日本一の桃源郷」づくりを目指しています。『あらかしの森林(もり)通信』はそのための情報資料です。

CONTENTS

あらかしの森林通信

- 2 CONTENTS (目次)、スナップ
 - 3 由布市生活体験スクール
 - 6 市政だより
 - 13 市長コラム「こんにちは、市長です」
- ★キラリ編集★

UFU City情報広場

- 9 みんなのひろば
- 8 郷土史紹介
- 7 新着本紹介
- 6 DEAR 図書館だより
- 4 まちかどズームアップ
- 3 ハッピーバースデー／さわやかキッズ
- 2 まちのスポットライト

表紙紹介 7月ー暑い夏がやって来ました。地球温暖化の影響でしょうか、年々気温が上昇し、猛暑と言われる日が続いている気がします。「心頭滅却すれば火もまた涼し」とは言いますが、暑い時は暑いもの。一方で、子どもたちは長く、楽しい夏休みを迎えることとなります。花火大会、海水浴、夏祭り…良い思い出をたくさん作ってほしいですね。

発行元

由布市役所庄内庁舎総務部総合政策課
〒879-5498 由布市庄内町柿原 302 番地
TEL097-582-1111 FAX097-582-3971
印刷：株式会社インタープリンツ

人の動き

●総人口	36,677人
●男	17,616人
●女	19,061人
●世帯数	14,512戸

7月1日 ※住民基本台帳より



将来を担い地域をつくる人材育成

育みあるまちづくり

由布市生活体験スクール



▲市内各小学校から参加した児童たち

由布市では「生活体験スクール」を今年度から始めました。庄内地域では旧町内小学生を対象にこれまで同事業を行っていましたが、今回から市内全小学校が対象となりました。

生活体験スクールは通学合宿とも呼ばれ、旧長野小学校施設である「庄内ゆうゆう館」が会場となっています。

同スクールは小学生が寝泊まりをして、さまざまな体験を通じて集団生活の中で自立心、社会性などを養い、将来の地域リーダーを目指していくことを目的としています。同じ市内とはいえ、小学生児童お互いの交流や親睦の機会は少ないものです。

3地域相互の児童の交流となると、更に少なくなります。

今回のスクールは6月25日から30日まで5泊6日の日程で行われました。同じ釜の飯を食べる良い機会と言えます。

▼各班ごとの係担当とスケジュール表

レクリエーションでお互いに打ち解けあいました



お風呂掃除も大事なこと



廊下もきれいに



夕食作りは地域ボランティアの人と一緒に



今回の生活体験スクールには、阿南小3名、湯平小3名、大津留小1名、由布院小11名、由布川小3名、挾間小5名、西庄内小1名、川西小5名の計32名が参加。全員6年生です。子ども達は職員の運転する自動車で、庄内ゆうゆう館と各学校間を5日間行き帰ります。

開級式の後はふれあい活動。体育館で自己紹介を兼ねたレクリエーションとなりました。初めての顔ぶれということでも少し緊張ぎみ。まずは打ち解け合い、融和が大切です。

6日間のスケジュールはあらかじめ決まっています。子ども達は6班に分かれ、班行動が基本となります。また毎日の掃除、食事作りなどの各係を交代で分擔します。

掃除をした後、午後6時から夕食作り。地域ボランティアの指導で、子ども達はご飯作り



新しくできた友だちと一緒に仲良くできました

上手に切れたかな？



みんなで楽しく
夕食作り!
おいしく♪

食事作りは男子と女子と一緒に

▶代表者による体験スクールの感想を発表



▼この日の夕食メニューはゴボウとニンジン
のサラダ、肉ジャガ、ツミレのスープ



ご飯の時間が一番楽しみ!
**みんな一緒だと
おいしい!**



▲閉級式では一人ひとりに終了証を手渡しました



尾崎 誠くん
(川西小)

寝る時にみんなとおしゃべりして、
新しい友だちができました。水曜
日のクラウンドゴルフは面白かつ
たです。



野田 枝里さん
(阿南小)

とても良かったです。みんなとお
風呂に入ったり、寝る時や掃除の
時間も楽しく過ごせました。



小田 隼己くん
(抜間小)

みんなと一緒に風呂に入ったり、
ご飯を作ったのが楽しかったです。
新しい友だちができました。

に取りかかります。中には初めて料理作りを経験した子どももいます。ニンジンやジャガイモを切った形が不細工でも、みんなで作った食事は美味しいもの。平日は午後7時から学習、入浴や洗濯などの生活の時間となります。学校の宿題もみんなと一緒にほかどります。

このスクールにはテレビはありません。またゲームもありません。「ゲームをしたい」と言い出す子どもが何人かいるようですが、テレビもゲームもない生活体験も貴重な経験となるでしょう。

順応性豊かな子ども達はすぐに生活に慣れ、お互いに仲良くなりました。夜寝る前のおしゃべりも楽しく、いろんな話題で盛り上がったようです。

関係者が心配した事故などもなく、今回は全員が無事に最終日夜の閉級式を迎えることができました。

閉級式では全員がこのスクールでの感想文を書きました。また、市教育委員会から全員に修了証が手渡されました。短いながらもこの体験はみんなの心に残ったことでしょう。

なお、秋には2回目の同スクールが予定されています。

由布市のまちづくり

市政懇談会（地域座談会）を開催します

あなたのご意見
お待ちしております



現在、市では広聴事業の一環として、市政懇談会を開催しています。

懇談会では市長が旧3町合併後の「由布市のまちづくり」ビジョンをご紹介するとともに、市民の皆さんからまちづくりに対するご意見をお伺いします。ぜひ、この機会に皆さんのご意見をお聴かせください。

	月 日	時 間	地域・校区(地区)	対象自治区	懇談会場
第15回	8月2日(水)	午後7時～ 午後8時30分	庄内地域 阿南	榛木・五福・蛇口・長宝団地・小野屋 高津透内・久保・なごみの里	蛇口自治 公民館

※お問い合わせは総合政策課広報広聴係(Tel.097-582-1111内線222)まで。

※その他の地域・校区(地区)につきましては、随時市報やホームページ、また地区内班回覧等でお知らせします。



市民が主役のまちづくり

「フォーラムYUFU」に 参加を!

まちづくりの主役は住民の皆さんです。皆さんがこれまで以上に主体性を発揮して、自立的な取り組みを展開することが、個性あるまちづくりを発展させる大きな力となります。

今回、女性の価値観や視点、能力などをまちづくりに生かすことを目指し、女性の皆さんを中心とした「まちづくりフォーラムYUFU」を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

◆日時 7月21日(金)

午前9時20分～12時

◆場所 はさま未来館2階 大研修室

◆内容 講演

パネルディスカッション

◆テーマ

女性が担う「ゆふのまちづくり」

◆問い合わせ

総合政策課

☎097-582-1111 内線227

地域の活性化を支援します **大分県の支援制度**

合併後の旧町村部の活性化に取り組むため、大分県は4つの地域活性化総合補助金制度を創設しました(総額10億2千万円)。特産品開発など一次産業の活性化につながる取り組みや地域に根ざしたイベント活動等を支援します。

支援メニューのあらまし(詳しい内容はお問い合わせください)

「活性化チャレンジ枠」(限度額100万円・補助率2/3)

地域資源や先端技術の活用など地域活性化につながるアイデアを事業化するための調査研究や試行等への支援。

「地域活動支援枠」(限度額1,000万円・補助率1/2)

地域資源の活用や地域の課題解決につながるコミュニティビジネスの展開や人材育成、文化振興等の取り組みに対する支援。

「旧町村部活力創造枠」(限度額5,000万円・補助率2/3)

持続可能な地域活動の活性化や農林水産業等の産業振興、伝統文化の保存継承等への取り組みに対する支援。

「旧町村部緊急支援枠」(限度額100万円・補助率4/5)

市町村合併に伴う地域住民の不安解消やコミュニティ維持につながるイベントの開催や地域の環境美化、文化活動等の取り組みに対する支援。

※この制度は大分県による支援事業ですが、この事業を検討される際は、一度最寄りの地域振興課が総合政策課までお問い合わせください。

問い合わせ

総合政策課(☎097-582-1111 内線227)

挾間地域振興課(☎097-583-1111 内線1226)

庄内地域振興課(☎097-582-1111 内線113)

湯布院地域振興課(☎0977-84-3111 内線213)

由布市総合計画策定へ

— 計画期間は平成19～27年度 —

由布市総合計画策定は、市制施行後初めての総合計画であり、合併時に作成した「住んでいる人も訪れる人もいのちの循環を大切にすまち」を基本理念とした新市建設計画を踏まえながら、まちづくりの将来像を展望した市政運営の基本方針を示します。また、地方分権時代にあふさわしい市民と行政がそれぞれの役割と責任を担い、協働しながら新しいまちづくりを進めるための指針となるものです。

総合計画は由布市の各行政分野のすべての個別計画の基本となり、それらの上位計画となります。計画は来年3月議会への提案を予定しています。

現在、市役所内では職員による「総合計画策定プロジェクトチーム」を立ち上げ、策定作業に取り組んでいます。

また、このほど市民12名から成る「総合計画審議会」が立ち上がり、来年3月31日までの任期中で審議に入りました。6月28日に第1回の会議があり、冒頭首藤市長から委員へ委嘱状が交付されました。

その他、市では各種団体との

懇談会、現在行っている市政懇談会、市民対話集会や移動市長室など多くの場で市民の声を聞き、総合計画へ反映させながら現在、策定作業を進めています。なお、地域別計画については、各3地域の地域審議会で審議しています。



▼第1回の総合計画審議会

総合計画審議会委員名

※敬称略（ ）内は団体役職名

【会長】足利能彦(教育委員長)、
【副会長】山本政司(社会福祉協議会理事)、【委員】志手淑子(由布院温泉観光協会会長)、倉野早苗(女性団体連絡協議会副会長)、衛藤昭彦(湯布院地域審議会会長)、西山利乃(青少年健全育成市民会議副会長)、安部清美(自治委員会会長)、二

宮邦弘(挟間地域審議会会長)、古長ひろみ(母子保健推進員会長)、角田豊美(商工会広域協議会副会長)、鷲野正美(ＪＡさわやか組合長)、大塚寿徳(庄内地域審議会会長)

将来を担う中学生との意見交換会

総合計画策定に市内中学生の意見を反映させようと、3中学で意見交換会が開かれました。6月に各中学へ担当職員が出向き、市の基本方針などを説明。意見交換では生徒から「もっと発展してほしい」「今のままで十分」「将来地元に残るかかわからない」などの意見や要望が相次いで出されました。



▶挟間中では生徒会と意見交換



▶庄内中では2年生が参加



▶湯布院中では生徒会と

市民アンケート調査にご協力ください

市総合政策課では、現在、コミュニケーションバス導入と総合計画を策定するための資料として、2種類のアンケート調査を実施しています。

お手元にアンケート用紙が届いている方は、7月20日(木)まで郵便ポストに投函してください。ご協力をお願いします。

調査対象は、市内にお住まいの18歳以上の人の中から無作為に抽出した方々です。
※お問い合わせは総合政策課
(☎097-582-1111
内線217・221)

由布市農業委員会委員選挙のお知らせ

任期満了（平成18年9月30日）に伴う由布市農業委員会委員選挙が、次のとおり執行されます。

■告示日 9月3日(日)

■投票日 9月10日(日)

選挙区と選挙すべき委員の定数

由布市農業委員会委員選挙は、旧挾間町・旧庄内町・旧湯布院町単位に選挙区を設置して実施します。選挙区と定数は、次のとおりです。

選挙区名	選挙区の区域	定数
挾間選挙区	由布市挾間町の区域	9人
庄内選挙区	由布市庄内町の区域	12人
湯布院選挙区	由布市湯布院町の区域	9人

立候補予定者説明会

全選挙区を対象にした立候補予定者説明会を次のとおり行います。立候補を予定されている方は、出席してください。

日時 ◆ 8月18日(金) 午後2時

場所 ◆ 庄内庁舎3階大会議室

立候補届出の受け付け

立候補届出の受け付けは、各選挙区とも次のとおり行います。

日時 ◆ 9月3日(日) 午前8時30分～午後5時

場所 ◆ 庄内庁舎3階大会議室

問い合わせ

由布市選挙管理委員会事務局

(☎0977-5821-1111)



残留農薬のポジティブリスト制度が

5月29日から始まりまし

ポジティブリスト制度って

どんな制度？

残留基準が設定されていない農薬などについても農薬が一定以上含まれる場合に、その食品（農産物）の流通を原則禁止する制度です。

何をどうすればいいの？

農薬を散布するときの飛散と防除器具などの十分な洗浄に注意してください。食品衛生法の改正で、農産物に対し、すべての農薬成分の「残留農薬基準」が設定されます。一律基準値0.01PPMを超えると、生産物の出荷停止・回収などの対応を求められる可能性があります。

どんな注意が必要なの？

散布する前にラベルの内容を確認し、隣りの田畑等に飛散させないように、風の強弱・向きや隣接作物の収穫時期などに注意してください。また、散布することを伝えるなど、周りの栽培者と連絡を密にすることが重要です。

対策として

散布量が多くなりすぎないように注意し、風の弱い時に風向きに気をつけて散布しましょう。細かすぎる散布粒子のノズルは使わないようにし、散布圧力を上げすぎないようにしましょう。また、タンクやホースは、きれいに洗っておきましょう。

こんな対策も有効です

まわりの作物にも登録のある農薬を使用し、ネットやシートなどで一時的に覆う。もし、飛散が起きた場合は、すぐにまわりの栽培者に知らせましょう。

指導機関

湯布院町農協営農経済課

☎0977-841-2722

さわやか農協園芸特産課

☎0977-5821-1111

由布市農政課

☎0977-5831-1111

(内線1344・1345)

湯布院・市民サービス課農林係

☎0977-841-3111

庄内・市民サービス課農林係

☎0977-5821-1111

奇贈・奇付をいただき、
ありがとうございます。

6月16日、「後藤檜根顕彰
勝手連」代表の岡幸也さん(大
分市)から、由布市出身の童
話作家・後藤檜根の書簡2
通、小学校時代の写真の奇贈
や活動費22,119円の寄
付が由布市へありました。



6月22日、挾間地域で毎年
開かれる「歌と芝居のチャリ
ティコンサート」実行委員会
の高野美委員長から、4月
のコンサート益金で購入した
車いす2台の寄付が由布市へ
ありました。



教育に関する各種相談について

■不登校や気になる行動等の教
育相談

由布市教育委員会学校教育課
では、教育に関する相談に応じ
ています。対象は、児童生徒本
人・保護者・教育関係者等です。

①「親と子の教育相談」

：来所相談及び電話相談

●日時 月・水・金の午後1時
～4時

●場所 挾間小学校体育館2階
●相談電話 ☎097-583
10089(直通)

②訪問相談

：家庭や学校への訪問相談

●相談方法 各学校の先生を通
じるか、直接教育委員会(☎0
977-84-3111 内線
218)に電話してください。
後日、相談員から電話連絡をし
て、相談場所等を決めます。

■障がい児巡回就学相談

大分県教育委員会では、障が
いのある幼児のお子さんについ
ての就学相談を実施します。相
談は無料で、秘密は厳守します。
●日時 9月29日(金)午前10時～
午後4時

●場所 由布市役所庄内庁舎
●相談内容 就学や保育・教育
に関する事、障がいのある幼
児の指導や接し方について

●相談員 医師、大学教授、児
童相談所相談員、特別支援教育
関係者等(相談は個別に実施し
ます。相談の時間等については、
担当者から別途連絡します)
●申込先・問い合わせ 教育委
員会(☎0977-84-31
11 内線218)



平成19年由布市成人式は
1月7日(日)に開催します。

成人対象者は、昭和61年4月2日から昭和62
年4月1日生まれの方です。開催場所は未定です。

今後、新成人者の中から実行委員会を立ち上げて、成人式に
関する企画運営の打ち合わせを行う予定です。なお、実行委員
の募集は8月号の市報に掲載予定です。

●問い合わせ 生涯学習課

(☎0977-84-3111 内線232・234)



参加しませんがコスモスロード210づくり

国道210号をコスモスロードとするため、「コスモスロード
210づくり」を8月27日(日)に実施します。今年は庄内地域だ
けでなく、挾間地域、湯布院地域において、国道沿いにコスモ
スを植えたいという方にも、コスモスの種と立て看板を無料で
配布します。個人、グループ、職場、学校などで事務局までご
連絡ください。

さあ、あなたも由布の秋を彩る仕掛け人になってみませんか。

●問い合わせ 庄内花いっぱい運動推進協議会事務局(庄内振
興局地域振興課内)☎097-582-1111 内線113

80歳で20本の歯を残そう

6月15日、高齢者のよい歯のコンクール・母と子のよい歯のコンクールが、別府県民保健福祉センター由布保健支所で開催されました。最優秀に選ばれた方は、市の代表として県の審査に出場します。

今回は、高齢者の良い歯のコンクールに出場された方に「80歳で20本以上、歯があってよかったこと」というテーマで感想をお聞きしました。皆さんを目標に、今から「80歳で20本の歯を残そう」という『8020』を目指した取り組みを始めましょう。

第14回高齢者のよい歯のコンクール

最優秀賞

高安 タカエさん(湯布院町川上・81歳)

- ・朝、起きた時と寝る前に必ず歯磨きをしています。
- ・食べ物をよくかんで食べているし、歯が丈夫なせいか病気もあまりしません。好き嫌いなないので、家族みんなと一緒に物を食べられます(お孫さんより)

優秀賞

佐藤 孝さん(挾間町鬼崎・82歳)

- ・年をとると歯ぐきがやせてきて歯の間に歯垢がたまってきたので、半年に一回、歯医者で歯垢をとっています。受診した時に歯間ブラシを見つけて使用するようになり、孫からも口が臭いと言われなくなりました。食事の中で砂糖もほとんど使いません。
- ・歯が丈夫で何でも食べられたから長生きできたと思います。

優秀賞

衛藤 美彌子さん(湯布院町川上・81歳)

- ・子どものころ、両親がいわしを料理するときは骨まで焼いて出してくれました。カルシウムいっぱいので歯が丈夫です。
- ・孫に習って、食べたらすぐ歯を磨いています。
- ・自分の歯で何でも食べられるのありがたい。

第55回母と子のよい歯のコンクール

最優秀賞

岩尾 駿希くん(庄内町柿原・3歳)

優秀賞

大久保 希美ちゃん(庄内町五ヶ瀬・3歳)

松山 諒音くん(湯布院町川西・4歳)

山口 慶太くん(湯布院町川上・4歳)

工藤 龍くん(湯布院町川上・4歳)



耳より情報

由布市では
歯周疾患検診を
実施しています

- 対象者 由布市内に居住する方で平成18年度に40歳、50歳、60歳、70歳になる方
 - 検診期間 9月30日まで
- ※詳しくは市報5月号をご覧ください。



歯科医からのコメント

むし歯予防とフッ素の利用

最近、医科ではメタボリックシンドロームという言葉をよく耳にしますが、歯科では「カリオロジー」「予防歯科学」という言葉が目立っています。どういう意味かというと、「むし歯の原因や進行のメカニズムを把握してコントロールし、予防に役立てようという理論、学問」ということです。我々歯科医師も歯を削ったり作ったりするだけではなく、健康の維持管理という仕事にも力を入れてきています。

現代では、食生活の中で飛躍的に砂糖の摂取量が多くなったために、むし歯で苦しむ人が増えてしまいました。そこで諸外国では、いち早く「カリオロジー」に注目し、

フッ素による予防を取り入れ、日本人よりも沢山の砂糖を摂取しているにもかかわらず、むし歯を大きく減らすという成果を挙げています。

フッ素はむし歯菌の働きを抑え、再石灰化を促進し、歯を、酸に対して溶けにくくするという効果があります。家庭でハミガキ剤やフッ素洗口剤を使用し、歯科医院の定期検診でクリーニングとフッ素塗布を受けることによって、子供も大人も高齢者もむし歯を減らすことができます。

また保育園、幼稚園、小学校で集団フッ素洗口を実施することにより、子供たちのむし歯を半分以下に減らすことに成功した県や自治体も多数あります。残念ながら由布市ではまだこれからです。食育ということが叫ばれますが、歯が健康でなければ健やかな成長は実現できません。

大切な歯を守り、いつまでも健康でよく噛むことができるように、我々歯科医師と一緒に「カリオロジー」と「予防歯科」を体験・実現していきましょう。

「国民健康保険庁」を名乗る

振り込め詐欺にご注意を!

「国民健康保険庁」を名乗る不審な督促状に関する問い合わせが、全国各地から国などに寄せられています。

問い合わせの内容は、「国民健康保険庁から国民健康保険負担割合変更のお知らせのながきがある人、住民税未納がある人等は国民健康保険証の無期限停止」、「預金口座の差し押さえ等が執行されるので、連絡を取るよう要請された」などです。

「国民健康保険庁」という行政組織は存在しませんし、厚生労働省や社会保険庁とも無関係です。国民健康保険に関する不審な督促状が届いた場合は、記載された連絡先に電話をしないでください。また、国民健康保険に関する不審な督促状があり、正当なものか確認をしたい場合には、保険課国保係(☎0977-184-3111 内線364)にご確認ください。

このほか、「若年者納付猶予

MR(麻しん風しん混合ワクチン) 予防接種の対象拡大について

6月2日から「定期の予防接種実施要領の一部改正」が行われ、第2期対象者が拡大しました。該当される方は、かかりつけ医にご相談のうえ、接種してください。

接種時期(4月1日改正と同じ)		ワクチンの種類	
第1期	生後12月から生後24月に1回	MR混合ワクチン	麻しん・風しん単抗原ワクチン ・麻しん・風しんにかかったことのある者 ・麻しん・風しん単抗原ワクチンを接種したことがある者
第2期	5歳以上7歳未満の者で翌年小学校に入学する者に1回	MR混合ワクチン(今までに麻しん・風しん単抗原ワクチン接種した者も可)	麻しん・風しん単抗原ワクチン ・麻しん・風しんにかかったことのある者

生後12月から90月未満の者で、1期・2期以外の時期には由布市独自の予防接種として、麻しん・風しん単抗原ワクチンの接種ができます。

- ◆料金 無料
- ◆接種場所 県内予防接種実施医療機関
- ◆相談・問い合わせ 健康増進課(☎0977-84-3111 内線333)

健康カレンダー

- 挟間**
- 7月14日(金) ちびっこ広場(9:30 挟間健康センター)
 - 7月19日(水) 1歳6カ月児健診(13:15 挟間健康センター)
 - 7月21日(金) ちびっこ広場(9:30 挟間健康センター)
 - 7月26日(水) 4~5カ月児健診(13:30 挟間健康センター)
 - 7月28日(金) ちびっこ広場(9:30 挟間健康センター)
 - 7月28日(金) おたまじゃくしの会(13:00 挟間健康センター)
 - 8月1日(火) 基本健康診査(挟間全地区)(10:00~11:30、13:30~14:30 挟間健康センター)
- 庄内**
- 7月14日(金) がん検診(9:00 庄内保健センター)
 - 7月21日(金) 基本健康診査(庄内全地区)(10:00~11:30、13:30~14:30 庄内保健センター)
 - 7月24日(月) 基本健康診査(庄内全地区)(13:30~15:00、17:00~19:00 庄内保健センター)
- 湯布院**
- 7月14日(金) さどっこきつたんぼぼ(10:00 佐土原公民館)
 - 7月20日(木) 1歳6カ月児健診(13:00 子育て支援センター)
 - 7月27日(木) 4~5カ月児健診(13:00 健康管理センター)
 - 7月31日(月) 基本健康診査・がん検診(湯布院全地区)(9:00~10:00 由布院小体育館)
 - 8月4日(金) がん検診(10:00 コミュニティセンター)

おしえて!国民年金

国民年金保険料の免除制度が4段階になりました

平成18年7月から「国民年金保険料の免除制度」がご利用しやすく変わりました。

経済的な理由で国民年金保険料の納付が困難な場合の免除制度は、「全額免除」「半額免除」の2種類でしたが、7月から所得水準に応じて保険料を納めやすくなるため、新たに「4分の3免除」「4分の1免除」が加わり4段階になりました。

このほか、「若年者納付猶予

制度「学生納付特例制度」などもあります。申請は住所地の市町村役場国民年金係です。

国保加入者へ国保係からお詫びと訂正

18年度国民健康保険税納税通知書の表紙裏面及び通知書に同封したチラシ「国保からのお知らせ」の記載事項に誤りがありました。お詫びして訂正します。

通知書の表紙裏面

誤	(4)不服申し立て及び取り消し訴訟湯布院町を被告として	正	(4)不服申し立て及び取り消し訴訟由布市を被告として
チラシ「国保からのお知らせ」裏面「保険税を計算してみよう!」の「B介護分」			
誤	②均等割額(該当者数に応じて計算)1人あたり3,500円	正	②均等割額(該当者数に応じて計算)1人あたり5,500円
誤	③平等割額(1世帯いくらと計算)1世帯あたりの金額5,500円	正	③平等割額(1世帯いくらと計算)1世帯あたりの金額3,500円

市営住宅入居者の

募集

物件名及び募集戸数

市営鶴田団地 1戸(B-1)〔挟間町挟間〕
市営アウル石城団地 1戸(F-2)〔挟間町来鉢〕

住宅概要

(鶴田) 木造2階建て・4LDK(1棟2戸建て)
(アウル) 木造2階建て・3LDK(1棟2戸建て)

家賃

(鶴田) 月額51,000円
(敷金として153,000円かかります)
汚水処理費、月額1,050円
(アウル) 月額46,000円
(敷金として138,000円かかります)

受付期間

7月10日(月)～7月28日(金) ※土日・祝日を除く

受付場所・問い合わせ

挟間庁舎建設課(☎097-583-1111)
※申し込み多数の場合は抽選となります。

合併処理浄化槽補助金の第二次受付開始

合併処理浄化槽を設置する家庭に対して、補助金を交付するための仮申請を受け付けています。

補助対象

9月1日以降に着工予定で、次の要件を満たす人
・住宅の新築やトイレの改造などを行い、合併処理浄化槽を設置する人
・由布市内に住所がある人、又は市外者で完成後住所変更できる人(来年2月未までに設置完了予定の人)
・店舗などの併用住宅は、延べ床面積の2分の1以上が居住用であること。
※ただし、販売目的(別荘を含む)で住宅を建設する場合は対象になりません。

補助金仮申請の手続き方法

環境課又は、挟間・庄内庁舎市民サービス課窓口で仮申請の手続きをしてください。仮申請書は環境課又は、市民サービス課窓口に用意しています。

【受付期間】7月14日(金)～8月30日(水)午後5時まで

補助金額

・5人槽相当(160㎡未満) 354,000円
・7人槽相当(160㎡以上) 411,000円
・10人槽相当(2世帯住宅、大家族住宅) 519,000円
※11人槽以上については、10人槽の補助額で打ち切りとします。

問い合わせ

環境課(湯布院庁舎) ☎0977-84-3111 内線522・524
市民サービス課(挟間庁舎) ☎097-583-1111 内線1241
市民サービス課(庄内庁舎) ☎097-582-1111 内線117

地上デジタル放送に伴う
悪質業者に注意を!

今のテレビで2011年7月24日まで、テレビ放送を見る事ができます。

地上デジタルテレビ放送への移行作業が始まっていますが、それに便乗して事実とは異なることを告げて製品の購入や仕事を勧誘する悪質商法が行われています。

国、自治体、放送局の関係機関をかたがて請求書を送りつけたり、実際には行われていない工事費の助成制度の申し込みと称してお金を振り込ませようとするほか、訪問販売で点検や工事を強要するケースなどがあるようです。

2011年7月24日までは、アナログ対応のテレビがそのまま工事不要で使用できます。地上アナログ放送終了後も、地上デジタルチューナー等を接続すれば引き続き使用できます。

受信相談

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター(☎570-07-0101)

悪質商法相談

県消費生活・男女共同参画プラザ(☎097-534-0999)

今月の税

- 国民健康保険税……………2期分
- 固定資産税……………2期分
- 入湯税……………7月期分(6月分)
- 介護保険料(普通徴収)2期分

納期限 平成18年7月31日(月)

休日在宅当番医

●内科・外科医

- 7/16 宮崎医院(庄内) ☎097-582-0345
- 7/17 湯布院厚生年金病院(湯布院) ☎0977-84-3171
- 7/23 何松内科循環器科(挟間) ☎097-583-1131
- 7/30 おさきクリニック(庄内) ☎097-582-0013
- 8/ 6 秋吉医院(湯布院) ☎0977-86-2241
- 8/13 森本整形外科クリニック(挟間) ☎097-586-3700

●歯科医

- 8/13 小野歯科医院(庄内) ☎097-582-2200



キ★ラ★リ★編★集

サッカーW杯—その華麗なプレイに感動してしまいました。前回大会は幸運にもチケットをゲット。当時の興奮がテレビ越しに蘇ってきました。日本チームの結果は本当に残念。次回へ向けてがんばってほしいです。◆最近はず＼SAQ、というスピードや敏しょう性の鍛錬を取り入れたトレーニングが求められているそうです。ブラジルのロナウジーニョ選手のあの俊敏な動きは天性のものかもしれませんが、そういえば最近はず＼デコボコ道や山道を歩く機会が減ってきたような気がします…。 (こ)

総合計画策定のため、各中学校で意見交換会を行いました。由布市の将来について発表する生徒を見ながら、ふと、自分が中学生だったころを思い返してみました。自分の住むまちをどんなふうに感じていたのか、将来住み続けるつもりだったのか…。はっきり思い出すことができずでした。今年の夏には中学の同窓会が予定されています。懐かしい顔を見たら、そのころの記憶が少しはよみがえってくるかも。 (ゆ)

とんぼうちま

市長です

No. 7

文・首藤 奉文



▲中学生との市総合計画意見交換会に出席

が楽しくない』『給食はきらいだから食べたくない』『部活を毎日のように言っています。世の中にこんな不満をいいたい何人の人が言えるでしょうか。このような生活ができる裕福な人は世界中の何億分の1しかいません。私たちはこの何億分の1の中の人間91人(庄内中学3年生)であることを改めて実感し、今

みなさんこんにちは市長です。先日、庄内中学校の3年生が平和についての学習をしたと聞いて、手紙を携えて訪問してくれました。『私たちは今、とても裕福な暮らしをし毎日学校に通い授業を受け部活をしています。けれど、実際は『宿題はいやだ』『学校に行きたくない』『部活

の生活に感謝して頑張らなければいけないと思いました』と。世界各地で戦争、災害、貧困などで苦しみにあえんでいる人たちに比べこんな不満のいえる生活ができる自分たちは本当に幸せです。そこで、由布市がいつまでも平和ですてきなふるさとであるように「平和都市宣言」をしてほしい、市長さんもさまざまな場で平和の尊さについて話してほしいと要望されました。私も「頑張りますよ」とこたえました。平和の尊さを深く学習している中学生にこちらが勉強させられました。今日もホトトギスが悲しそうに鳴きながら山の向こうへわたっていきました。小さいころ祖母から「ホトトギスはな、親がいつもおいしいものを食べているに違いないと疑い、親の腹を断ち割って見た。ところが親のおなかには何も入っていなかった。アア、自分を育てるためにこんなに苦労をしたのか。そんなことも知らず疑ってごめんなさい」と泣いているんだよ」と聞かされました。信ずる心、感謝の心を忘れずに、みんなが楽しく暮らせるように頑張らなくてはと思っています。



ゆふ

UFU

2006
JULY
7
Vol.10

City情報広場



まちのスポットライト
ハッピーバースデー／さわやかキッズ
まちかどズームアップ
DEAR 図書館だより
由布市文化財探訪
みんなのひろば

PH：匠の技を学んで面白い！
(石城小の技能ふれあい教室)

▼「個人戦の全国大会は初めて」と緊張の中に闘志も満々！



“目標は愛ちゃん！”
全日本卓球選手権大会出場

矢野彩香さん(小6) 挟間地域・赤野



▲母・和代さん(右)を相手に練習。

まちの スポットライト

vol.9

このコーナーは
「元気な人とまち」を応援するために
シリーズで掲載しています。

矢野彩香さんは7月28日から神戸市で開かれる、「全日本卓球選手権大会」に県代表として出場します。大会はホープス(小学6年生以下)、カブ(小学4年生以下)、バンビ(小学2年生以下)の各部の男女別のシングルスで競技されます。小学6年の彩香さんはホープスの部で出場。6月10日に開催された県予選で3位入賞となり、同選手権への出場を果たしました。

県予選では、惜しくも2位のチャンスを逃したことがぐやしかったそうです。

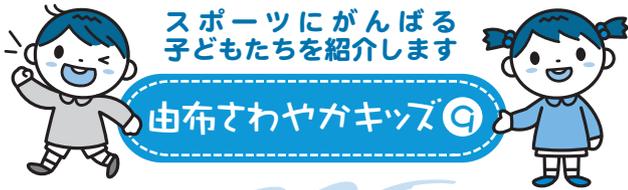
訪れたこの日は、地区の公民館では母親の和代さんが地元の卓球愛好者とプレーしており、彩香さんも一緒でした。聞けば、和代さんもかなりの腕前だそうで、親子でがんばっています。和代さんの影響もあり、ラケットを握り始めたのは幼稚園のころから。本格的に始めたのは小学4年からで、現在は別府市にある卓球クラブ『KID'S51』で週5日練習しています。

「試合で勝ったり、いいボールが入った時がうれしい」と卓球の魅力を話します。福原愛選手の影響もあって、卓球競技はこのところ注目を浴びているだけに、目標とする選手も「愛選手」。練習では「集中してやるように」と心がけています。

全日本選手権会場となる神戸総合運動公園体育館は昨年の大会で足を運んでいるそうで、場の雰囲気も予習済み。「目標は予選リーグ突破です」と闘志を燃やします。

「県予選は精神面の弱さが出たので」と和代さんはメンタル面の鍛錬を彩香さんに望んでいます。母という頼もしい相談者がいるのは、彩香さんにとっても大変心強いことでしょう。

「夢はオリンピック出場」とラケットを構えた姿にはこれからの活躍が大いに期待されます。



スポーツにがんばる
子どもたちを紹介します

由布さわやかキッズ

大きく声を出してファイト!

挟間ジュニアバレーボールクラブ

クラブは創部13年目を迎え、現在部員は19名。指導者3名の下、元気良く練習に励んでいます。

クラブのモットーは「元気を出して、声を出して」。練習でも指導陣から声を出すよう、盛んにゲキが飛んでいます。

春の市大会では優勝、また、サントリーカップ県中央ブロック予選ではベスト4に入り、本大会に出場するなどその成果が実っています。「本大会は初出場とあって、力を出し切れなかったですね」と指導陣は反省。大分県全体の小学生バレーボールのレベルが高いそうで、試合慣れするようにと、積極的に試合経験を積んでいくことも計画しているとか。

「以前に比べ、子どもの数が少ないのが悩み」と少年少女スポーツ全体の共通の問題はここでもあるそうです。

間近に迫った(7月15日)スポーツ少年団県大会での上位進出が目標。主将の佐藤美咲さん(小6)は「声が出て元気なチームにしたい」と抱負を話します。

クラブでは部員を募集中。毎週火、木曜日は午後4時30分から7時30分まで、土曜日は午前9時から12時まで挟間小学校体育館で練習しています。

お問い合わせは後藤計二さん(☎097-583-4355)まで。



ハッピー7月バースデー

HAPPY BIRTHDAY TO YOU!



あない みう
穴井 海羽ちゃん

平成17年7月12日生 湯布院町川上

海羽1歳のお誕生日おめでとう！いつもニコニコ元気に育ってくれてほんとにありがとう。パパもママも海羽が大好きです。

じくまる だいき
軸丸 大輝くん

平成17年7月2日生 挟間町下市

大くんお誕生日おめでとう！おしゃべり上手な大くん。元気にたくましく育ってね。



にのみや はるき
二宮 陽樹くん

平成17年7月13日生 挟間町下市

陽樹くん1歳のお誕生日おめでとう。これからも元気にすくすく育って、やさしい男の子になってね。



いちの やすとも
一野 靖智くん

平成17年7月15日生 湯布院町川上

靖くんお誕生日おめでとう。大好きなお兄ちゃんと仲良く、元気に大きくなってね。



お誕生日コーナーにお子さんの写真を掲載したい保護者の方は、事前に市役所総合政策課へ電話でお申し込みください。対象となるのは、3歳以下のお子さんで旧3町広報紙のお誕生日コーナーに掲載されたことがない方とします。8月号掲載分は7月20日を締切とします(先着順)。

申込先 由布市総合政策課広報広聴係

☎097-582-1111 内線222

まちかどズームアップ

防災

しっかりチェック

梅雨、台風シーズンを控え、由布市防災パトロールが6月6日に実施されました。パトロールには由布市消防署、消防団、警察、自衛隊、大分県や由布市などから出席。市内3地域におよそ20人ずつに分かれ、それぞれの危険カ所の現地調査を行いました。湯布院地域では昨年の台風14号の豪雨で災害が発生した下湯平地区などを視察。終了後には検討会を開き、対応策を話し合いました。



防犯

大声をあげて逃げよう!

5月31日、由布川小学校で不審者対策の非難訓練が開かれました。ここ最近、子どもたちを取り巻く事件報道が多いとあって、避難訓練や大分南署員を招いた講話、実技指導といった有意義な内容となりました。避難訓練では不審者役を演じた教職員を他の教職員が取り押さえ、また児童への的確な避難誘導も行われました。さらに体育館で行われた講話では、不審者に声をかけられた際の対応を署員が児童へ説明しました。



勇姿

全国大会&九州大会へ

6月2日、大分市で「第28回大分県消防救助技術大会」が開かれました。由布市消防署からも11名がエントリー。その結果、ほふく救出の部で優勝し、8月24日の全国大会(札幌市)に出場。また、ロープブリッジ救出の部では4位入賞で、7月20日の九州大会(宮崎市)に出場となりました。全種目で入賞するなど輝かしい成績で、大会での活躍が期待されます。



交流

外国文化にふれて

6月14日、第26回国際文化交流会が東庄内小学校で開かれ、11カ国の人々が児童と交流会を催しました。これは小野幸さん(大龍)が、本の読み聞かせボランティア活動をきっかけとし、外国人のホームステイを受け入れたことから始まりました。四半世紀を超える交流会に今では学校やPTAも協力しています。児童たちは外国人の方と地図で国を探したり、レクリエーションなど楽しく過ごしました。





平和な世界を…

6月23日、庄内中学3年生の生徒代表5名が市長室を訪れ、首藤市長へピースメッセージを手渡しました。生徒たちは総合学習の中で実行委員会を設け、平和授業について学び、今回「いろんな場で平和の尊さについて話してほしい」と平和都市宣言の実施を首藤市長へ訴えました。また、生徒たちが考えた非核宣言案を提出しました。
※この案につきましては次号紙面でご紹介いたします。



3つがひとつへ

6月27日、由布市女性団体連絡協議会発足総会が庄内公民館で開かれました。これまで旧町単位で女性協が活動していましたが、由布市誕生を契機に女性協がひとつにまとまることとなりました。女性の参画が求められている中、同団体への期待も高まっています。なお、役員選出では田中真理子さん(旧挾間町会長)が初代会長に就任しました。



女性たちの活躍の場が誕生

6月28日、挾間地域朴木地区の由布川峡谷猿渡降り口に販売加工施設「溪流庵」が誕生しました。これは大分県地域活動支援事業による朴木地区女性部活動拠点整備事業として、新設されたもの。ここでは新鮮野菜や手作りまんじゅうなどが販売され、観光客憩いの場となりそうです。女性部代表の平野八重子さん(朴木上)は「心のこもったおもてなしをしたい」と抱負を話してくれました。



技を学ぼう

6月23日、石城小学校で技能ふれあい教室が開かれました。これは大分県技能士連合会が県内各学校で実施しているもので、今回が7回目となります。「職人の技を多くの子どもたちに体験してほしい」と関係者。各教室では地元地域出身を含む左官、畳、建築大工のベテラン職人がそれぞれ型抜き人形、円形工芸畳、本立て作りを指導。児童たちは熱心に取り組みました。

図書館だより — Vol.10

DEAR ディア

由布市立図書館

☎097-586-3150

http://www2.town.hasama.oita.jp/
mail:h.tosho@city.yufu.oita.jp



あぢさい
あぢさいの花を
見ていると
何か小さな心が
べつべつにわいて
くるやうだ
匂ひが
べつべつにわいてきて
見ていることを
忘れてゐる
後藤 榎根 著
「薄日詩帖」より
(この本は、昭和5年大道町に
あった榎根の出版社「童仙房」
から出版されたものです)

*後藤榎根は、由布市挾間町出身の童話作家です。

シリーズ 後藤榎根 人と作品④

=「児童文化運動活動家」としての後藤榎根=

詩人であり童話作家であった榎根は、熱心な児童文化運動の活動家でもありました。『日本の将来を支えるのは子どもであり、その子どもの人間形成に役立つ文化を育てることこそ自分の役割である…』(「後藤榎根の世界」より)この考えは、「日本童話会」を創設する時の旗印であった『今日の児童文化が、明日の祖国文化をつくる』という言葉に凝縮されています。このスローガンのもと、榎根は「日本童話会」を児童文化運動の実践の場として多くの児童文学者とともに活動し、児童文化の普及に努め、多大な功績を残しました。これらの活動を通して「第1回モービル児童文化賞」(昭和41年)「日本児童文芸家協会児童文化功労賞」(昭和55年)を受賞しました。

今回は、「教育者としての後藤榎根・童話作家の育成」を紹介します。

7月のテーマ展示「体調管理」

暑い夏を乗り切る体力、気力を維持するにはどうしたらいいの？
食育・健康法・涼を呼ぶ法いろいろ考えてみましょう。

7月のミニ展示「読書感想文 ◆感想画推薦図書展示」

夏休みのお約束(?!)読書感想文。
頭の痛い人へお助け展示。参考にしてください。指定図書から司書お薦めなどいろいろ。

夏休み学習室開設のお知らせ

由布市立図書館では、7月18日～9月10日まで、学習室を開設します。有効にご利用ください。

《時間》9:30～17:00 《場所》未来館2階小研修室
期間中でも、半日だけ利用可や使えない日があったりしますので、ご注意ください。

詳細は、図書館内の表でご確認ください。日程表はカウンターでもお配りしています。

“このゆびとまれ” はじまります!

かわいい子どもたちに出会いたくて、おばちゃんたちが読みかたりを始めました。子どもさんを中心に、ご家族でお気軽にゆっくり過ごしてください。

《日時》※毎月第2木曜日に開催しています。10:30～11:00
《場所》湯布院公民館 中会議室 《内容》絵本の読み語り
※お問い合わせは湯布院公民館へ。

子ども達の
ための
読みかたり

7月のカレンダー

■ 3館の休館・休室日

○ 挾間:おはなし会 湯布院:パソコン休室日

由布市立(挾間)図書館からお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

庄内図書室からお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

湯布院図書室からお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

自死遺族のつどい

日時 8月4日(金)午後1時30分～3時30分
場所 県精神保健福祉センター(大分市玉沢)
対象者 大切な人を自死で亡くされた遺族の方
内容 グループミーティング
申込先・問い合わせ 県精神保健福祉センター(☎097-541-6290)

庄内町商工会発行「お買物券」販売中!

庄内地域商工業者85店舗の加盟店でご利用でき、1セット(500円券が21枚)が、1万円で購入できるお得な商品券が発売されました。ぜひ、ご利用ください。

お買物券販売所 庄内町商工会他庄内地域17箇所の加盟店

使用期間 7月1日(土)～9月30日(土)

問い合わせ 庄内町商工会(☎097-582-0094)

「大分県しあわせの丘」のご案内

大分県しあわせの丘は会議や研修、冠婚葬祭、趣味の会、さらには観光・休養など多様なご要望に、お一人から100名程度の会合まで、公共の宿として廉価に対応しています。団体利用者には、専用バスでの送迎もあります。ぜひ、ご利用ください。
問い合わせ 大分県しあわせの丘(大分市廻栖野)☎097-588-1220

催し

ミステリアスライブin庄内

ジャズの演奏に合わせて舞う、ミステリアスな庄内神楽をお楽しみください。

日時 8月12日(土)午後4時30分～8時30分

場所 庄内総合運動公園神楽殿

出演 神楽吉会(庄内神楽座員若手グループ)

入場料 700円(中学生以下無料)

問い合わせ 商工観光課(☎0977-84-3111)

スタッフ募集 実行委員会では若い力を募集します。神楽に興味をお持ちの方、神楽を習いたいと思っている方、スタッフとしてこのイベントに参加しませんか。希望される方は、商工観光課内ミステリアス庄内実行委員会事務局までお申し込みください。

湯布院駐屯地納涼大会

当日、駐屯地を一般開放します。

日時 8月2日(水)午後5時30分～9時

場所 陸上自衛隊湯布院駐屯地

内容 盆踊り、子どもコーナー

問い合わせ

湯布院駐屯地広報室

(☎0977-84-2111 内戦203)



第38回ゆふいん盆地まつり

盆踊り大会や花火大会、大昔の虫追い行事として続いている「蝗攘祭り」も行われます。

開催日 8月15日(火)、16日(水)

場所 由布見通り、宮川河畔等

問い合わせ 商工観光課(☎0977-84-3111)

由布市はさま盆踊り大会・花火大会

自治区や事業所単位での盆踊り大会が行われた後、河川敷から約3,000発の花火が打ち上がり夜空を彩ります。

日時 8月19日(土)午後6時30分～(盆踊り)、午後8時30分～(花火)

場所 挾間中洲賀グラウンド

問い合わせ (盆踊り)挾間公民館☎097-583-1118、(花火)挾間町商工会☎097-583-0235

スポーツ

由布市長旗争奪ミニバレーボール大会

第1回由布市長旗争奪ミニバレーボール大会が6月18日、湯布院B&G海洋センターで行われました。市内から17チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。入賞チームは以下のとおりです。



▲優勝のミラクルチーム

優勝 ミラクル(挾間)、**2位** D oクラブ(挾間)、**3位** 喜多里(挾間)

由布市文化財探訪

その6

今回は庄内町瀨の県指定文化財「瀨の板碑」を紹介합니다。

国道210号を、挾間から湯布院へ向かう途中、柿原から左に、市道瓜生田上々瀨線を中瀨で左折して少し上ると、カシの木の下に大きな板碑が見えます。これが、県指定「瀨の板碑」です。

板碑とは、鎌倉時代から室町時代の間造られたもので、主として供養塔であり墓石の意味も持っています。板碑の高さは2m27cm、幅64cm、厚さ35cmあり大きく立派である。表には月輪の中に、胎藏界大日の種子(アーク)が、裏面には同じく月輪の中に金剛界大日の種子(パーンク)が彫られている。

板碑の基礎石には、小さな穴が12個彫られているが、これは乳の出の悪い女性が祈願のために、赤飯を供えたといわれている。

また側の道は、むかし熊群山への裏参道として、英彦山の修験者が通ったと伝えられている。

現在この板碑は、地区の老人会の方々により、手厚く管理されています。



▲庄内町中瀨「瀨の板碑」

●次回紹介は……

県指定有形「狭間氏五輪の塔群」と「由布川峡谷」です。お楽しみに！

庄内の伝説 ～永慶寺の金の茶がま～

ずんと昔、永慶寺には、大きな立派な金の茶がまがあつち、寺の宝物として大切にしちよつたそうな。

ところがある日、鹿児島^{えいけいじ}の兵隊さんが大分に攻め入つち、戦争になつてもうた。この寺もさんざんに攻められち、焼かれてしもうたそうな。戦争が終つちみると大切な茶がまが、のうなつちよつたそうな。心配した和尚さんは、一生懸命に探したがどうしてん見つからんじやつた。

それから、何十年も経つち、庄内にこんな噂があつたそうな。「大分にものを言う茶がまがあるそうな。永慶寺へ帰りた、永慶寺へ帰りた、夜泣くそうな。不思議な茶がまじゃ」

持ち主は、古道具屋ち、いい茶がまがあつたけん買つたんじゃが、気持ちが悪うなつち、茶がまを永慶寺へ返したいと思つたようになつたそうじゃ。

永慶寺へ無事に帰つた茶がまは、湯を沸かすとそれはそれは、もう、なんとん言えんいい音がしたそうな。それは、静かにお経を唱えるようち、聞いちよん人ん心を癒すような音じゃつたそうな。村人は、その音を聞いて気持ちが落ち着いたそうな。

この金の茶がまは、今も永慶寺にあるそうじゃ。



▲永慶寺の金の茶がま

問い合わせ

由布市陣屋の村歴史民俗資料館

☎ 097-583-3941

由布市教育委員会 生涯学習課文化振興係

☎ 0977-84-3111 (内233)

HOT LINE

みんなのひろば

由布市総合政策課
☎097-582-1111 内線222

試験

入国警備官採用試験

試験日 9月24日(日)

試験地 福岡市、鹿児島市、広島市等

受験資格 昭和58年4月2日～平成元年4月1日生

受付期間 7月18日(火)～8月1日(火)

インターネットでの申し込み
の場合は7月25日(火)午後5時
まで

問い合わせ 人事院九州事務局
(☎092-431-7733)



自衛官等各種採用試験

種目	資格	受付期間・試験日		
航空学生	高卒(見込含)	8月1日～9月8日		
	21歳未満の者	9月23日		
一般曹候補学生	18歳以上	8月1日～9月8日		
	24歳未満の者	9月16日		
曹候補士	18歳以上	8月1日～9月8日		
	27歳未満の者	9月16日		
2等陸・海・空士	男子	18歳以上	年間を通じて行っています	
			受付時に通知	
	女子	27歳未満の者	8月1日～9月8日	
			9月24日・25日	

問い合わせ 自衛隊大分募集案内所 (☎097-546-2177)

相談

無料労働相談

労働者、使用者を問わず、労働に関する相談を弁護士や社会保険労務士、行政機関等がお受けします。相談は無料です。

日時 7月21日(金)午後1時30分～4時30分

場所 大分文化会館第2会議室(大分市荷揚町)

問い合わせ 中部中小企業労働相談所 (☎097-532-3040)

年金無料相談会

日時と場所 7月21日(金)庄内町商工会館、7月28日(金)湯布院町商工会館、8月11日(金)挾間町商工会館、各回とも午前10時～午後3時

相談員 生野基(社会保険労務士・年金コンサルタント)

申込・問い合わせ

庄内町商工会 (☎097-582-0094)

挾間町商工会 (☎097-582-0235)

湯布院町商工会 (☎0977-84-2445)

※事前の予約が必要です。

民事介入暴力集中相談所

暴力団等が関係した被害や不当な要求などの困りごとについて、弁護士等が相談に応じます。

日時 7月28日(金)午前10時～午後4時

場所 コンパルホール301会議室(大分市府内町)

相談方法 面接または電話 (☎097-538-4704)

問い合わせ 暴力追放大分県民会議 (☎097-538-4704)

無料人権相談所

日時 7月25日(火)午前10時～午後3時

場所 湯布院福祉センター

内容 金銭、登記、相続、家庭内の問題、借地・借家、いじめ、名誉侵害、その他の人権問題

担当者 法務局職員、人権擁護委員

問い合わせ 大分地方法務局 (☎097-532-3161 内線36)

募集

タウンウォッチングウォーキング参加者募集

「風のハルカ」の撮影場所をウォーキングします。終了後、希望者は弁当パーティー(弁当と飲み物付で500円)を行います。

日時 7月16日(日)湯布院庁舎前午前9時集合

コース 5km・10km

問い合わせ ゆう湯健康事業・浦松(☎0977-84-3317)※当日受付可

夏!私たちの町クリーン大作戦

子どもからお年寄りまで一緒に私たちのまちをきれいにするクリーン作戦に参加しませんか。終了後、おいしい「こびり」を用意しています。

日時 7月22日(土)午前9時～12時

集合場所 湯布院公民館

問い合わせ 湯布院公民館内青少年ボランティアサポートセンター(☎0977-84-2604)

夏休み親子体験バスツアー参加者募集

開催日 8月20日(日)

場所 神の里交流センター(竹田市神原)

集合場所・時間 挾間老人福祉センター、午前8時45分

対象者 挾間地域在住の母子・父子世帯

内容 竹炭ペンダント作り体験

参加費 無料

申込期限 7月31日(月)

申込先・問い合わせ 市社会福祉協議会挾間事務所(☎097-583-4344)

大分県奨学会予約奨学生募集

平成19年4月に高等学校及び高等専門学校・専修学校高等課程へ進学することを希望している方を対象に予約奨学生を募集します。

募集期間 6月下旬～9月下旬(在学する学校を通じて行います)

貸与月額 国・公立自宅1万8千円～私立自宅外3万5千円

問い合わせ 大分県奨学会(☎097-536-1111 内線5614)

大分大学学歌(作詞部門)募集

作成要領 作品は未発表で、歌詞は3番構成。指定の用紙に記入。大分大学憲章を考慮し、大分という地域の特色を表現していること。

応募締切 8月18日(金)午後5時

問い合わせ 大分大学教育支援課内「大分大学学歌公募係」(☎097-554-7442)

※応募方法等は大分大学ホームページ等でご確認ください。

教室・講習会

潜在助産師キャリア再開発研修会

日時 7月22日(土)、23日(日)、午前9時30分～午後4時30分

場所 看護研究交流センター(県立病院保育所裏)

受講料 無料(但し、資料代3,000円)

対象者 未就業助産師(年齢不問)

申込先・問い合わせ 日本助産師会大分県支部(☎097-569-5146)

差別をなくす運動月間県民講座

日時 8月4日(金)午前10時30分～午後4時

場所 コンパルホール(大分市府内町)

内容 講演「部落差別の現実を見つめ直す」、ワークショップ「自分をみつめる～同調と傍観」

問い合わせ 県人権・同和対策課(☎097-536-1111 内線3177)

お知らせ

新規大学等卒業予定者就職面接会

日時 7月18日(火)午前10時30分～午後3時

場所 トキハ会館(大分市府内町)

対象者 平成19年3月大学・大学院・短大・高専・専修学校等卒業予定者(平成18年度既卒者を含む)

参加方法 学生の方は、履歴書を持参のうえ、直接会場にお越しください。参加希望の事業主の方は、下記にお申し込みください。

申込先・問い合わせ ジョブカフェおおいた(☎097-533-8878)